

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度 第3回朝霞市社会教育委員会議	
開 催 日 時	令和5年2月15日（水） 午後 2時00分から 午後 3時30分まで	
開 催 場 所	中央公民館・コミュニティセンター 集会室1、2	
出 席 者	○委員12人（金子委員、田邊委員、杉山委員、久住委員 藤田委員、蕪木委員、蔵田委員、渡邊委員、齋藤委員、 木村委員、小島委員、野本委員） ○説明のため出席した部課長及び事務局等8人 （神頭生涯学習部長、菊島生涯学習部次長兼課長、 中村中央公民館長、藤原文化財課主幹、鈴木図書館長、 星野主幹、渡邊課長補佐、堀内係長）	
会 議 内 容	(1) 令和4年度生涯学習・社会教育関係事業実施報告について (2) 令和5年度生涯学習・社会教育関係事業実施計画について (3) 第3次朝霞市生涯学習計画実施計画（令和5年度～令和7年度）（案）について (4) 社会教育委員研修会等参加報告（令和4年度南部地区社会教育関係委員・職員研修会） (5) その他	
会 議 資 料	資料1 令和4年度（2022年度）生涯学習部事業報告書 資料2 令和5年度（2023年度）生涯学習部事業計画書 資料3 第3次朝霞市生涯学習計画実施計画（案）（令和5年度～令和7年度） 資料4 社会教育法 社会教育委員抜粋 資料5 朝霞市社会教育委員名簿	
会 議 録 の 作 成 方 針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 議長による内容確認	
そ の 他 の 必 要 事 項	傍聴人 0人	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

○開 会

会議の公開・傍聴人の確認：渡邊生涯学習・スポーツ課長補佐
部長のあいさつ：神頭部長
議長のあいさつ：金子議長
委員の欠席確認：渡邊生涯学習・スポーツ課長補佐

○議 事

（1）令和4年度生涯学習・社会教育関係事業実施報告について

（金子議長）

それでは議事の（1）令和4年度生涯学習・社会教育関係事業実施報告について事務局から説明をお願いします。

（渡邊生涯学習・スポーツ課長補佐）

令和4年度生涯学習・社会教育関係事業実施報告につきましては、年度の途中でございますが、今年度、生涯学習部における所管課にて執り行いました、昨年12月末時点の実績につきまして御報告させていただきます。

（生涯学習・スポーツ課→文化財課→中央公民館→図書館の順に説明）

（菊島生涯学習部次長兼課長）

1 ページの生涯学習啓発推進事業「子ども大学あさか」につきましては、ここ2年間はオンラインにより実施していましたが、今年度は3年ぶりに対面式での講義開催となりました。顔を合わせて直接意見を交わせることはもちろん、実際に身体を動かすなど、オンラインとは違った、対面ならではの良さを改めて感じることができました。

2 ページの芸術文化振興事業ですが、コロナ禍により中止されていた、「市民芸能まつり」や「芸能のつどい」などの芸能部門の発表の機会を3年ぶりに実施することができました。また、文化祭における朝霞西高校や朝霞高校の写真部、音楽部といった高校生の参加もあり、コロナ禍前の開催規模に近づくことができました。

3 ページの人権教育振興事業は、市民や企業向けの研修会を予定通り実施することができました。また、3年ぶりに開催した人権問題講演会では、近年問題となっている「ヤングケアラー」をテーマに開催し、参加者から多くの好評をいただきました。

成人の日記念式典事業は、成人式から成人の日記念式典に名称を改め、20歳を対象に2部制で式典を開催しました。東洋大学管弦楽団の協力により、管弦楽団の生演奏とともに厳かな式典を進行することができました。

4 ページの家庭教育推進事業は、2年間開催を中止していた「家庭教育学級合同講演会」をゆめばれすにて実施することができました。家庭教育学級生や、市民など165人の参加者がございました。

「放課後子ども教室」は、例年9月から2月までの間、土曜の開催に加え、小学校の夏季休暇中に6校で3日間ずつの教室を新たに開催し、かなり好評でした。

5 ページはスポーツの関係です。「ボッチャ体験教室」や「ミニテニス教室」「なぎなた教室」など、市民スポーツ教室や小学生スポーツ教室といった各種教室を実施し、多くの方に参加いただきました。

「朝霞市民総合体育大会市民体育祭」は、規模を縮小しつつも3年ぶりに開催することができ、3,000人を超える市民に参加いただきました。

オリンピック・パラリンピックレガシー事業として、オリンピック出場経験者の土井杏南陸上選手をお招きし、「誰でもOK!記録を破れ」を開催し、小学生から大人の方まで大勢の方に参加いただきました。以上です。

(藤原文化財課主幹)

7 ページの文化財保護普及事業は、市内文化財の調査・研究・啓発・公開等を行う事業と、文化財保護関係団体への補助金の交付の2本柱で成り立っています。今年度は計3団体に補助金の交付が終了しています。

指定文化財等保護管理事業は、湧水代官水、柵塚古墳歴史広場、広沢の池、二本松の維持管理を行っています。今年度は湧水代官水、柵塚古墳歴史広場、旧高橋家住宅の敷地内で、害虫の被害が樹木に生じ、薬剤樹幹注入と処理を行っています。

埋蔵文化財調査保存事業は、試掘・発掘調査の実施に伴い、調査、資料の保存整理、発掘調査報告書の刊行などを行っています。今年度はあずま南地区、根岸台の土地区画整理事業で、13万5,000平米の敷地内の約5割の試掘調査を終了する予定です。令和4年度から6年度までの3か年で試掘調査を行うということで計画、実施しています。

8 ページの埋蔵文化センター管理事業は、埋蔵文化財の調査の拠点となっている埋蔵文化センターの管理・運営を行っています。

旧高橋家住宅管理運営事業は、旧高橋家住宅で体験学習を実施し、維持管理を登録の皆様と実施しています。また、主屋の屋根の差し茅の工事を予定していましたが、業者が決まらず令和5年度の実施に向けて準備をしています。

10 ページから博物館の事業についてです。運営事業は4本の柱に分かれています。小学校3年生への教育普及事業が現在はメインとなっていますが、大きい事業としては、第36回企画展「台の城山遺跡と向山遺跡」ということで、弥生時代をメインとして11月12日から12月18日まで実施し、2,500人以上の方に御来館いただきました。

また、市制施行55周年記念丸沼芸術の森コレクション「アンドリュー・ワイエス水彩・素描展」を10月8日から30日に実施し、4,300人以上の方に御来館いただきました。

14 ページの博学連携事業は、小学校6年生、3年生、1年生の博物館利用事

業ということで、小学校のカリキュラムに組み入れていただいている事業です。現在博物館では、昭和30年から40年代の昔の暮らしをテーマにした展示を開催しながら、小学校3年生の生徒さんに、石臼など昔の道具の体験や展示で昔の生活に触れていただいています。こちらは全校39クラスに来ていただいています。以上です。

(中村中央公民館長)

16ページから、6館合計で39以上の事業を計画し、12月末現在で32事業が終了しました。

今年度もコロナ禍の影響で、人権教育講座は6館合同で、2月17日に「見た目の差別」というテーマでNPO法人マイフェイススタイル代表外川浩子さんをお迎えして開催します。皆様も是非御参加ください。

「サマーフェスティバル」、各「公民館まつり」は3年ぶりに開催することができました。飲食等の制限はありましたが、多くの方に御参加いただきました。

プラネタリウムは、毎週日曜日の午前11時と午後3時に、定員を半数の45人として開催しています。12月現在の観覧人数は、一般投影が94回で1,990人、特別投影は16回で964人、団体投影は20団体で680人、合計3,634人となっています。前々年度と比較して378人増加し、観覧人数は徐々に増加傾向となっています。

なお、内間木公民館で3か月間空調工事を実施しておりましたが、工事が完了し2月13日から利用を開始しています。以上です。

(鈴木図書館長)

イベントの開催は事前申込制と参加人数の制限をし、参加者の検温、手の消毒、十分な換気を行うことで感染防止に努め、実施しましたが、一部につきましては、やむを得ず中止といたしました。

29ページ「青少年対象講座」は、青少年に図書館利用のきっかけと本に親しむ機会を提供することを目的とし、「ゲームを創る！図書館に来たら紙ゲーを製作するコトになった件～」と題し、11月20日に開催しました。講師の御厚意により1週間後の「フォローアップ講座」を実施し、創ったゲームの向上とゲームをやってみるところまで行いました。その際は来館者にもお声がけして、多くの方に参加していただきました。

「児童文化講座」は、動物の写真絵本を通して、読書に関心を持っていただくことができました。

「プレママ・パパ絵本講座」は「ブックスタート」と「赤ちゃん和妈妈・パパのおはなしタイム」につながっていくように企画しています。

30ページの「うさみみタイム」は、同日に絵本と映画上映を行っていましたが、映画会は今年度中止とし、読み聞かせの数を増やし、手遊びなどを取り入れて実施しました。

「子ども読書の日おたのしみおはなし会」「夏休みおはなし会」は、例年児童文学を原作とした映画会をしていましたが、視聴覚室などの換気の問題から、読み

聞かせ会に変更して実施しました。

「映画会」「シネマライブラリー」は9月から再開しました。2月4日の参加人数は21人で、徐々に人数が回復しています。

31ページ「図書館まつり」「らいぶらりコンサート」は、実行委員会が中心となり、感染防止対策を講じながらの開催でした。

「年末年始特別企画 本の福袋」は、258冊用意したところ249冊の貸出で、96.5%の貸出でした。

「書庫見学ツアー」は、2月14日に成人の部を開催し、10人の参加がございました。

32ページの北朝霞分館の事業は、小学3年生から6年生対象の「えんじょいきっず」、乳幼児向けの「絵本のよみきかせ」、「映画会」を開催しました。以上です。

<質疑応答・意見交換>

(金子議長)

ただいま説明がありましたが、御質問、御意見はありますでしょうか。

(木村委員)

コロナ禍で担当の皆様にご一生懸命実施していただき、本当にありがたかったと思います。対面できないためリモートを用いた場合の新たな参加者層の違い、今までは参加できなかった高校生などの参加は感じられたでしょうか。そのような参加者を、対面になってもオンラインやズームでやることでつなぐアイデアはありますでしょうか。

(堀内係長)

昨年度は子ども大学を全てオンラインで実施しましたが、学校に行けていない子が参加したということが後で分かったのですが、すごく楽しみに参加していたと保護者の方から伺い、また、ズームで楽しそうに講義を受けて、周りの学生とコミュニケーションをはかっていたので、不登校の子が参加できる手段となり得るのだと学びになりました。今年は全て対面で行いましたが、家族に濃厚接触者が出て講義に来ることができなくなってしまった子2人に対し、オンラインで講義に参加してもらうことができ、対面とオンラインによるハイブリット講義を実施することができたので、前進したなと感じています。

(木村委員)

身体の事情とか、オンラインでなら参加できるという子たちなどが参加できる仕組みがあるとしたら、その方たちを取り残さないようその仕組みを大きくすることができたらありがたいなと思います。

(渡邊委員)

参加する方が半歩引いている部分があって、人との接触に対しての心理的な圧

迫が残っている一年だったのかなと思います。マスクに関して自己決定と言われてどれくらいできるか。フィルターが優しくなるような形で事業に参加できる仕掛けをうまく考えられるといいと思います。

(金子議長)

図書館分館に行きましたら、利用者が何冊も本を借りられていて、一日の来館平均が170人から180人ということで、非常に活発に利用されていると思いました。

(鈴木図書館長)

4月から12月までの貸出件数は昨年度より約17%多くなっています。本館が工事中で中に入れなため予約だけという状況がしばらく続いた影響もありますが、現在貸出は増えています。利用者数も約16.2%増えています。

ただ予約数が約12%減少しています。図書館が新たに開館したことで直接手にする機会ができたのかなという印象があります。電子図書館が始まった影響もあるかもしれません。

(2) 令和5年度生涯学習・社会教育関係事業実施計画について

(金子議長)

続きまして、議事の(2) 令和5年度生涯学習・社会教育関係事業実施計画について、事務局から説明をお願いします。

(渡邊生涯学習・スポーツ課長補佐)

4月より、新たな年度を迎えますが、令和5年度の生涯学習部における各所管課の事業、取組等について御報告いたします。

(生涯学習・スポーツ課→文化財課→中央公民館→図書館の順に説明)

(渡邊生涯学習・スポーツ課長補佐)

1ページの「子ども大学あさか」「夏休み親子陶芸教室」、2ページの芸能文化振興事業など、令和4年度と同様に様々な事業の実施を予定しています。中でも、4ページの「放課後子ども教室」につきましては、夏季休暇期間における開催日数を令和4年度から更に2日間拡充し、6校で5日間、計30回開催させていただきたいと考えています。

スポーツに係る事業につきましては、令和4年度同様に市民や小学生を対象としたスポーツ教室を開催するほか、市民体育祭やロードレース大会など開催に向けて準備を進めて参ります。特に、ロードレース大会につきましては、今年度は悪天候の影響により中止となり、ここ4年間ずっと開催ができていないため、来年度はなんとか開催したいと思っています。以上です。

(藤原文化財課主幹)

7ページの埋蔵文化財調査保存事業の試掘調査で、あずま南地区13万5,000平米の3割の4万平米程度の試掘を、地権者様の許可が下り準備ができ次第ということで計画しています。

8ページの旧高橋家住宅管理運営事業は、屋根の改修工事を計画しています。4月以降に入札をしてその結果により開始します。

10ページの博物館事業は、第37回企画展「樹木と人の暮らし(仮称)」を、朝霞の歴史と樹木という自然の内容を組み合わせた形の企画展を、10月14日から11月26日に予定し、準備を進めています。

博学連携事業は、小学校1・3・6年生対象の博物館利用授業を、現在1回につき2クラスまでとしています。通常は3クラスに戻せるのではないかと期待しています。以上です。

(中村中央公民館長)

13ページ中央公民館の「悠ゆう大学」は、充実した日々を送るために生涯にわたって学習していけるような環境を提供する講座を計画しています。プラネタリウムも例年通り毎週日曜日の一般投影や、団体投影を行います。サマーフェスティバルは8月下旬の予定で話を進めています。

14ページ以降の各公民館につきましては、主に大人を対象にした「教養講座」、「さわやか健康教室」、子どもを対象にした事業、映画会、人権教育講座、公民館まつりなどの事業を計画しています。以上です。

(鈴木図書館長)

20ページの「大人の朗読会」、「青少年対象講座」は、年1回の開催を予定しています。児童関係の「児童文化講座」「ブック・スタート」は例年通りですが、「うさみみタイム」は、映画会をできれば月1回は復活させたいと考えています。

21ページ、4月23日から5月12日までの子ども読書週間の期間には、「おたのしみおはなし会」や「おたのしみ映画会」を、夏休み期間も同様におはなし会と映画会を実施したいと計画しています。12月は「クリスマスおはなし会」を実施したいと考えています。

「シネマ・ライブラリー」は年6回を予定し、これまで一般対象の事業としていましたが、今後は一般青少年や親子で鑑賞できるような映画を企画していきたいと考えています。

「図書館まつり」「らいぶらりコンサート」は実行委員会方式で実施し、5年度に向け参加団体を募っているところです。

23ページ北朝霞分館の事業は、4つの事業がございます。映画会は人数制限をせず、ホールの定員まで入場可能にしたいと考えています。以上です。

<質疑応答・意見交換>

(金子議長)

ただいま説明がありましたが、御質問、御意見はありますでしょうか。

(小島委員)

各公民館の成人教養講座で、高齢者の方が、例えば足が痛くて公民館に行けないけれど、Zoomの仕方を教えてくれたら講座に参加できて社会につながる事ができるので、そのような講座の予定はあるでしょうか。

(中村中央公民館長)

事業報告書の27ページ内間木公民館で「はじめてのスマホ」というどちらかというと高齢者を対象にした、スマホとの付き合い方の講座を実施しています。令和5年度に関しては各館が内容を検討しているので、毎月の館長会議でお伝えしたいと思います。

(小島委員)

近所の高齢者の方に聞くと、家族に教えてもらうより丁寧に教えてもらえるところはないかとおっしゃっていました。お金を出せばあるのですが。女性センターの講座で、Zoomにしたら朝霞市外の方も視聴してくださったりして、視聴回数にはなりますが、参加者数が上がっているということもあるので、ハイブリッド開催にさせていただくとありがたいと思います。中央公民館で今度開催される人権講座にも参加したいのですが、都合が悪いので、1週間位動画等で視聴できるといいなと思います。

(中村中央公民館長)

市役所の方で、リモートシステムの貸出をしています。中央公民館でも「さわやか健康教室」の2回目を5人の方のみZoomで開催しました。リモートシステムに慣れていない講師の方もいらっしゃいますので、講師選定の時に確認しながら実施していきたいと思います。

(野本委員)

コロナが流行ったためにオンラインとリモートができた。役所はリモートを必要とする事業については、対面とオンラインの両面で行っていかうとするのか、コロナが収まったら3年前の形に戻すのか、という問題が出てくるが、どのように考えていますか。

(渡邊生涯学習・スポーツ課長補佐)

市役所もコロナの当初はリモートの整備がまだされていなくて、子ども大学あさかでは、NPO法人さんに御協力いただいてオンラインを実施していました。今年からデジタル推進課もでき設備も整えて、県の会議などで使わせていただいています。参加する方の要望があれば、両方で実施させていただきたいと思っています。

(野本委員)

要望があればという話ですが、「面白そう」だとか、「みんなに見てほしいな」

という時に、多くの参加者を集めるのであれば、講座とオンラインはイコールだという認識で進めていくことが必要ではないか。教育ですから、生涯学習として両面で進めていくべきではないかなと思います。リモートを実施しているだけで、朝霞は随分進んでいる、というのが社会の見方なんですね。

(金子議長)

学校でリモートで実施しているところはありますか。

(杉山委員)

コロナの場合、自分は元気だけれど家族の濃厚接触者になり登校してはいけない状況が生じるので、その子たちに学習の機会を提供しようということでオンライン授業を実施しています。本人が体調不良なのに無理して参加するわけにはいけないので、自分の体調を確認することを第一に考えながらオンライン授業を取り入れています。

(3) 第3次朝霞市生涯学習計画実施計画(令和5年度～令和7年度)(案)について

(金子議長)

議事の(3)第3次朝霞市生涯学習計画実施計画(令和5年度～令和7年度)(案)について、事務局より説明をお願いします。

(堀内係長)

資料3の第3次朝霞市生涯学習計画実施計画(案)(令和5年度から令和7年度)について御説明いたします。

この実施計画の主旨についてですが、3か年計画を計画期間とし、毎年度見直しをすることとなっているため、令和5年度、6年度、7年度の実施計画を定めたものとなります。

資料の1ページから3ページは、「施策体系別事業一覧」です。令和5年度は5つの大柱のもとに計120の事業を実施予定です。

「新たな学びのきっかけを提供します」のもとに、再掲7事業含む25事業
「使いやすい学びの場を提供します」のもとに、再掲3事業含む22事業、
「多様な学びのメニューを提供します」のもとに、再掲9事業含む50事業、
「市民の学びの主体性を支えます」のもとに、再掲7事業含む13事業、
「市民とともに学びを協働で推進します」のもとに10事業となっています。
令和5年度も昨年と同様の事業数となり、生涯学習推進のため各課取り組んで参ります。

では、5ページを御覧ください。

最初に令和5年度の実施計画の作成状況について御説明します。

5ページ上段の、担当課が生涯学習・スポーツ課の「スポーツ情報提供」を例に説明させていただきます。

「担当する各課」には、令和5年度の事業内容、令和4年度の実績見込み、令和5年度から令和7年度の目標について作成依頼しています。

生涯学習・スポーツ課では令和5年度の「スポーツ情報提供」という事業内容について、「広報紙等へのスポーツ情報の掲載、施設利用案内の配布、市民総合体育大会のチラシ配布、市ホームページの掲載やSNSを通じた情報発信を行う」と定めています。「事業に対する指標」は「広報・ホームページ等掲載回数」としており、第3次生涯学習計画の最終年度である令和8年度には、30回掲載することを目標としており、令和5年度は26回、令和6年度は28回、令和7年度は30回と少しずつ増やしていくことを実施計画として決めました。なお、令和4年度の実績見込みといたしましては、30回と見込んでおり、目標通り達成できそうであることが伺えます。

このように当課から毎年各課に作成依頼するものとして、次年度の実施計画作成と、前年度の事業評価がありますが、事業評価につきましては、令和5年度が開始してから各課に作成いただき、その結果を委員の皆様にご報告させていただきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

それでは、「第3次朝霞市生涯学習計画実施計画（案）（令和5年度～令和7年度）」の各課シートについて概要を説明させていただきます。

4ページから11ページまでは、大柱「新たな学びのきっかけを提供します」に関する各課の施策シートとなります。

情報発信の方法や、学習相談体制の充実、生涯学習をはじめたい人への支援について、令和5年度における各課の事業目標、事業内容をお示ししています。

12ページから19ページまでは、大柱の2「使いやすい学びの場を提供します」に関する各課の施策シートとなります。

生涯学習推進拠点の充実として、公民館、図書館、博物館、スポーツ施設、学校、そのほか、市内各公共施設の管理運営についてお示ししています。各施設とも、市民の皆様にご安全で快適な施設設備を提供できるよう、必要に応じて改修等を行いながら管理運営を進めてまいります。

なお、16ページ上段の「リサイクルプラザ管理運営事業」につきましては、令和5年度より指標を変更いたしました。令和4年度までは「環境大学・講座等開催回数」を指標としてきましたが、環境大学の開催が増える見込みが今後ないため、令和5年度からは「講座等開催回数」を指標として、「施設を適正に維持管理し、循環型社会の構築に向けた各種講座を開催する」という事業内容を達成していきたいとの担当課の申し出により変更するものです。

続きまして、20ページから38ページまでは大柱の3「多様な学びのメニュー

一を提供します」に関する施策シートです。

「ともに生きる社会づくりに向けた」人権啓発事業や男女平等推進事業、「健やかで心豊かな人生のための学び」としてスポーツに関する振興事業や、芸術文化に関する事業、また「ライフステージに応じた学び」として青少年に関する育成事業や、「キャリアアップやスキルアップに関する学習の支援」事業などを行います。

39ページから42ページまでは、大柱の4「市民の学びの主体性を支えます」に関する施策シートです。「学習活動の成果の発表とその機会の充実」として、文化祭関連事業や吹奏楽・器楽フェスティバル事業、また「指導者の育成」として、あさか学習おとどけ講座に関する事業や市民企画講座に関する事業を行います。

最後に43ページから46ページまでは、大柱の5の「市民とともに学びを協働で推進します」です。各種計画の策定や、生涯学習の推進に係る会議等を開催し、市民の皆様と協働で生涯学習を推進して参ります。以上です。

<質疑応答・意見交換>

(金子議長)

ただいま説明がありました。御質問、御意見はありますか。

(齋藤委員)

生涯学習・スポーツ課の方で教育委員会の関係部署のみならず、幅広い分野から御意見をまとめるのは大変だったと思いますが、生涯学習は幅広い分野の中で影響を互いに受け合いながら進めていくものだと実感しました。43ページに社会教育委員会議があります。我々の意見が反映されていくという部分で責任を感じます。社会教育委員が研修的なものをしていくことでより役に立つ意見が言えると思います。今年も2回目は現代の社会教育の兆候についての研修会で、南部地区の社会教育委員会議では、国や県の動向のみならず県内の他の地域の活動状況も随分勉強させていただきました。今後も幅広く実施していただくと勉強になるのでお願いしたいと思います。

(藤田委員)

広報の掲載について、以前に比べて十分なスペースをいただけていない気がする。ページ数を増やすなりもう少し考えていただければと思います。

(堀内係長)

私たちも同様の思いで担当課にお願いしており、多くの市民からもそういった御意見があることは担当課も承知しているようですが、予算の関係など難しい状況もあるようです。関係各課と調整を図っていきたくと思っています。

(金子議長)

以前は写真もあって見やすかったのですが、最近は字が多く、お知らせ事項が多岐にわたり編集する側は大変だと思います。社会教育委員会議でも意見が出たことを伝えていただければと思います。

(4) 社会教育委員研修会等参加報告 (令和4年度南部地区社会教育関係委員・職員研修会)

(金子議長)

続きまして、議事(4)社会教育委員研修会等参加報告ということで、本年1月17日に、「令和4年度南部地区社会教育関係委員・職員研修会」がオンラインにて開催されました。参加されました委員より、研修会の御感想、御報告等をお願いします。

(木村委員)

初めて参加しましたが、あのようなオンラインという形で研修会ができるのだなと思いました。あのような場で意見を発信するのは難しいですが、回数を重ねることのできるのではないかと思います。

(蔵田委員)

他の地域の活動を具体的に知ることができたので、情報交換をしたらいいのかなと思いました。

(齋藤委員)

リモートは不慣れで難しかったのですが、対面的な話とちょっと違います。顔とか話し方とかいろいろな面で感じ取って会話はスムーズにいくものがありますが、リモートはその辺が難しく、理論を正確に伝えようという点では効果があったと思います。大変良い研修をさせていただきました。

(渡邊委員)

慣れないと分かりづらく、伝わる内容に温度差があるのかなと思います。各テーマの情報交換ができなかったのがちょっと残念です。ズームで部分的に出てくるように簡単にできないので、技術的な問題は慣れなのかなと思います。

(金子議長)

学校の授業をオンラインで実施する場合、子供も発言する双方向ではなく、一方向で実施することが多いのですか。

(杉山委員)

双方向にはなっていますが、子供は受け身となる部分が多いです。画面上で一人だけ個別に対応するというのはできにくいです。

(5) その他

(渡邊生涯学習・スポーツ課長補佐)

本日で令和4年度の社会教育委員会議は全て終了ということで、長時間にわたり御審議等いただきまして、皆様ありがとうございました。

本日いただきました御意見等につきましては、今後の事業の実施に生かせるよう検討させていただきます。

これをもちまして、令和4年度第3回社会教育委員会議を終了いたします。

○閉 会